

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を!

# ハロー フレンズ



2015年 秋号(季刊) 第137号

## 富士見市国際フォーラム2015開催 「つなげよう 広げようBunkaのWa!」

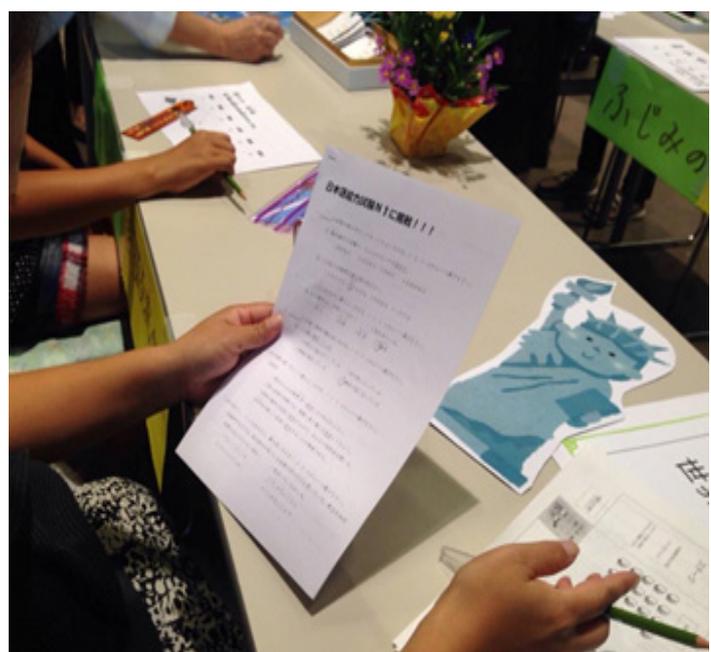
9月28日、富士見市国際交流フォーラムが今年も富士見市キラリ☆ふじみにて9月26日(土)に開催されました。FICECの担当イベントは、外国人が受験する「日本語能力試験1級N1」などに挑戦してもらうクイズコーナーの出展、台湾のお菓子エッグタルトの配布(前日に200個作り当日評判でした)、活動紹介のパネル展示です。「在日外国人の主張&質問コーナー」では、FICECと関わりのあるイギリス人で、ふじみ野市立大井西中学校に勤務され

ているシェーン・クリアーさんが登場し、ご自身の家族についての思いをスピーチしていただきました。

また、FICECスタッフが進行役を務めた在日外国人の主張スピーチ後の質問コーナーでは、会場から外国人主張者に「日本の食べ物で嫌いなものは何ですか」「お国で柿を食べますか」(主張の中で日本の柿を賞賛した方がいたため)など主に食べ物に関する質問が多く出ていました。



5人の外国人に会場から質問が飛び出しました



日本語能力試験1級N1に挑戦コーナー

(前ページより続く)

## スピーチ シェーン・クリアリーさん

### 【Self Introduction～自己紹介】

皆さん、こんにちは。私の名前はシェーン・クリアリーです。私はイギリスのロンドンから来ました。私は全部で5年間ぐらい日本に住んでいます。始めは秋田県で留学生でした。日本の事をとっても好きになってから住みたいと思いました。日本は安全、住みやすく、きれいな国だと思います。それと、沢山いい友達ができました。日本人、アメリカ人とスウェーデン人の友達がいます。

今日は家族の大切さについて話したいと思います。特に私とお父さんとの絆です。

### 【子どもの時】

私はイギリスのロンドンに生まれました。私の親はイギリスの隣のアイルランドから来ました。メアリーとジェームズという人です。かれらはイギリスのロンドンに引越してから結婚して、4人子どももできて私の家族ができました。

私が子どもの時、お父さんはたくさんの事を教えてくれました。自転車の乗り方と泳ぐ事と今も大好きなサッカーとか。でもそれより人生の事も教えてくれました。

例えば、私は6歳か7歳ぐらいの時、お父さんとケンタッキーに食べに行きました。食べた後でケンタッキーの店を出て、1人の男の人を見ました。彼はすごく汚くてグレイの髪の毛とヒゲがあつて町のごみ箱の中をあさっていました。私はちょっと笑いました。“お父さん、何でこの人はゴミ箱の中をガサガサしているの？”と聞きました。お父さんは説明してくれました。“彼はお金が全然ないんですよ、住む場所もないし何もないんですよ！”僕の顔から笑顔が消えました。こんな生活をしている人がいるなんて信じられなかった。

僕のお父さんは、僕に5ポンド(約2千円ぐらい)をくれてそれで、僕はそのお金をこの老人にあげました。“なにか食べてください！”と言いました。その老人は笑顔で“ありがとう”と言いました。お父さんからこの思いやりの事を習



いました。とても大切な事。

### 【親が離婚した時】

私がだいたい13歳の時、親は離婚しました。—お父さんとお母さんは沢山ケンカして、家族はストレスと落ち込みもありました— お父さんは家から出て行きました。私は何が起きていたか良く分からなかったのですが、ちょっと悲しかったです。その頃はちょっと反抗期の年齢でした。“僕は生活の事は何でもわかる、親はいやだ、もう要らない！”と思いました。私とお父さんが遠くなりました。あまり会わなかったしもういいかなあと思っていました。

### 【おじいさんのお葬式】

それから19歳の時、私のおじいさん(お父さんのお父さん)が亡くなりました。私はお父さんと一緒にアイルランドであつたお葬式に行きました。その時、お父さんがすごく悲しそうに見えました。一緒におじいさんのお墓に行った時、お父さんが“何か見せたい”と言いました。それでお父さんと一緒にちょっと歩いてその近くにあつたお墓を見に行きました。“何でこの場所を案内しているのかなあ”と思っていた。

そのお墓はすごく古かつた。そこに書いてあつた名前がほとんど読めないくらい古かつたです。でもよく見ると名前が“クリアリー”と読めました。その隣の墓も“クリアリー”でした！私の苗字はクリアリーで珍しいのでちょっとびっくりしました。それで気づきました“これは僕の祖先だ！”昔、私の祖先はこの場所に愛していた家族のお墓を作りました。とても感動しました。その後、私とお父さんは一緒に飲みに行って、また子どもの時のように仲良くなりました。今回はケンタッキーじゃなくてアイリッシュバーだったけどね。

## 【CONCLUSION～終わりに】

子どもの時、親を見ると何か“Super hero(スーパーヒーロー)”みたい何でも分かるし何でもできている！でも大人になって大人の生活のストレスとかプレッシャーがわかるようになると、実は親は普通の人だったと気づきます。皆自分のストレスと問題を持っている。

今日のメッセージは家族の大切さです。家族はいつも完璧な人じゃないですが、生まれたときから絆で繋がっている。悪い思い出を忘れて、いい思い出を

守って大事にして自分の道を行く！

この前の夏休み私はイギリスお父さんとは3年ぶりでした。お父さんがロンドンのヒースロー空港まで迎えに来ました。それで一緒にアイルランドまで運転しました。またおじいさんのお墓にもおまいりに行きました！

お父さんと関係があると嬉しいです、大事にします！これから僕は自分の道を進むけどいつも僕のそばにいる、いつも僕のお父さん。（聞いてくれて）ありがとうございます。



FICECの活動の様子を写真で紹介しました



前日にみんなで一日がかりで焼き上げたエッグタルト

## みんなで遊ぼう！ ～「Let's enjoy☆世界の子ども遊び」報告

夏休み最後の日曜日、上福岡西公民館で「Let's enjoy 世界の子ども遊び」と題したイベントがありました。市内の様々な団体が市内各所で開催する「ふじみ野市誕生10周年記念事業」のうちの一つです。FICECでは、外国の遊びを市内の子どもたちに紹介することになりました。

夏休みの間中、インターンの学生さんや、子どもクラブの中学生が主力となって準備を進めました。おもしろいことに、子どもの遊びというのはどの国も似通っていて、蹴ったり投げたり的に当てたり、違うのは使う道具だけということが多くありました。

限られたスペース、やってくる子どもたちの人数も読めない中で、みんなで頭を悩ませました。結果、

パズルあり、ジェスチャーゲームあり、エッグ

アートありのイベントになりました。当日の天気のせい、広報不足のせい、客足が思ったようには伸びなかったのがとても残念でした。でも来てくれた子どもたちはみんなとても楽しそうでした。この日用意したゲームは、また別のイベントで大活躍することと思います。（国際理解担当：彦由 章）



東南アジアのセパタクロ（ボール）を使ってゲーム

## 楊くんからFICECへの手紙 「日本語だけじゃなく、他の科目も勉強しなさい」

皆さん、お元気ですか？ 送って来た写真を見て、思わず笑ってしまいました。

皆さんと一緒に過ごした日々を恋しく思っています。もうすでにセンターは我が家のようにです。皆さんは私の家族のように思えます。

母と僕は中国で元気に暮らしています。ビザに関しては、書類を集め、順調に進んでいます。安心して下さい。

毎日、僕は日本語の勉強をしています。

日本語勉強だけじゃなく、他の科目も勉強しなさい、と母に言われるほどです。

ちょっと良くない知らせがあります。「みんなの日本語 Part2」の本が本屋さんで見つからない事。

でも、大丈夫です。僕はネットで探します。

ジョージくん、卓球と数学の勉強はサボらないでね！

皆さんと再会できる日を楽しみにしています。

では、皆さんによろしく伝えてください。

健康に気をつけて、お過ごしください。

楊子豪

友理 せんせい:

很想念您和大家！

看到照片上的每一位我不禁笑了起来，非常怀念与大家一起渡过的日子。我想我已经把那里作为我新的家了，而你们就是家人。

我与母亲在中国都很好。对于签证所需材料的准备，都挺顺利的。放心！每天我都在学习日语，不停地。以至于我妈总吵我只会抱本日语书不学文化课，但不好的消息是那本要买的书在书店是找不到的。我会想办法从网上找找！大丈夫。

乔治卓球与数学的练习不要松懈啊！很期待能与大家的重逢。代我向母亲向大家问好。

愿您身体健康，工作顺利。

楊子豪

001686

兄弟紙品

第

頁

## 「インターンシップの体験」文京学院大学 藤井紅羽

私は、8月1日から9月1日のおよそ1ヶ月間「ふじみの国際交流センター(以下、FICEC)」でインターンシップを体験した。

今回、FICECでのインターンシップを体験して、特に「在日外国人の方が抱える問題・現状」「FICECが行っている事業の重要性及び需要の高さ」を認識・理解することができた。

まず、前者は「来日することで生じる問題」が人によって異なり、数多くあるということである。具体的には、一番の問題と言っても過言ではない「言語の問題」から「文化・価値観の差異」や「ビザなどの書類手続き」などがある。上記のような問題により、来日して日本人と同じように暮らすのに苦労している在日外国人の方が多いという現状を認識した。また、東京オリンピックに向け、外国人労働者を呼んでいるが、「来日して生じる問題」に対する対策が成されているのかといった点も問題のひ

とつである。

次に、後者に関してだ。FICECは在日外国人の方が必要としている支援・サポートをほとんど無償で(翻訳を除く)全面的に網羅しようという「ボランティア精神」が強い印象を受けた。このような印象を受けた事例についてふれたい。FICECは「在日外国人の抱える問題」の大小に関わらず、親身に対応している。例えば、通訳も兼ねた病院の同伴、学校に赴き面談の同伴などがあげられる。また、日本語教室に加えて生活相談・シェルター・翻訳・パソコン教室・多言語情報誌の発行などの様々な事業を行っているNPO法人は少ない。前者の内容もふまえて、これらから「FICECが行っている事業の重要性及び需要の高さ」が理解できる。

以上が、私がFICECでインターンシップを体験して、特に認識し理解することができた点である。

## 皆さんと一緒に活動を

## 新理事 永田信雄

今年から理事になりました永田と申します。私がFICEC石井理事長と初めてお会いしたのは7～8年前で、FICECの活動についてレクチャー頂きました。

その後、ご無沙汰していたのですが、埼玉県住まい安心支援ネットワークの「住宅確保要支援者」調査事業でした。

埼玉県内には、高齢者、生活困窮者、生活保護世帯、一人親家庭、外国人など、「自力では住宅を確保できない」方が多数存在し、そのための「支援ネットワーク構築」ができないかという調査でした。

外国人を支援するふじみの国際交流センター(FICEC)の活動は、とても素晴らしく魅力あるものでした。そこで、私の所属する(一社)埼玉県労働者福祉協議会が取り組んでいる

フードバンク事業から少しお手伝いをしたいと考え、事務所にお邪魔するようになりました。

石井理事長と話しているときに最も驚かされたのが、「在留外国人の教育について政府に窓口がない」ということでした。埼玉県だけでも13万人が生活しているのに、仕事や生活、教育についてまったく放置されていることも知らされました。

私が調査した「アパートへの入居」についても、言葉が分からず、習慣や文化が異なる外国人への対応は不十分だということが分かりました。

そんなことから、FICECの活動について、ほんの一部しか分かっていない門外漢ですが、皆さんとご一緒に活動していけたらと考えています。よろしくお願い致します。

## 見送りの三振より 空振りの三振

## パート II

## 石井 ナナエ

○月○日

中央ろうきん「若者応援ファンド」の助成を受けて毎日大勢の子どもがセンターに勉強に来ている。親が日本人と再婚して呼び寄せられた外国籍の子、幼い時に両親が離婚し母親の国で育ったが母親の病死により日本の父の元に戻ってきた日本国籍の子、就労ビザの親と日本で暮らしている子等、国籍も環境も様々だが、誰もが生きる権利を持った大切な子である。

彼らがこれから日本で働き、普通の生活ができるようにするにはどうしたらよいか。1日4時間きり働けない家族滞在ビザの子どもの高校卒業後の生活はどうなるのか。日本語も掛け算も苦手な子は高校進学以外の生き方はないのか等、どうしたらいいのかが積み重なり「子どもの学び」についての学習会を開いた。講師は夜間高校教諭と専門学校の理事長。先日訪問した、生徒が100%外国人という新宿のフリースクールの先生もそうだったように、お二人共熱心に現状や課題を話して下さり、本気で若者と向き合っていることが解った。しかし見えてくるのは法の壁と経済力不足問題。外国人観光客誘致に躍起になっている政府に「日本で暮らす青少年を活かす方策を考えて」と願った。

○月○日

相次いで児童相談所から相談を受けた。それぞれ国籍は違うが、母親は外国人、父親は所在不明、子どもは保護施設に預けられている。母国への出生届けが出ていない為3人とも無国籍のまま大きくなった。

その内1軒の、付け睫毛の可愛い母親と、再婚希望の日本人男性を呼んで、無国籍の子どもの出生届の出し方や、二人の結婚届けの方法を教えた。話をしていく中で、彼女自身の複雑な環境や困難な成育歴が解った。

「児童相談所から引き取った後の実母や義父からの虐待が多いけど、どんなことがあっても子どもを虐待してはいけないのよ。どうにもならなくなったら毎日10時～16時までここにいるから相談にくるのよ」と言い聞かせた。私が育った頃は貧しくても家族が周りにいて両親がいつもかばってくれた。いろいろ教えてくれた。彼女達にもお説教してくれる親や祖父母が必要なんだ。

「仲良くするのよ。子どもを大事にするのよ」と、約束の指切りをして返した。

## 日本人と外国人がじっくり語り合いました ～「Let's enjoy☆大人のトーク」報告～

シチュエーション: お家で、子育てや家事等 男性は分担すべきですか？	シチュエーション: 友達と一緒に食事をする予定 お昼12時に駅で待ち合わせと約束 した 友達が遅刻したので、一人で15分 ほど待った その時イライラしますか？	シチュエーション: 自分、あるいは自分の両親はお年 寄りになったら 老人ホームに送るべきですか？
シチュエーション: 人と初対面の際 人を顔で判断しますか？ 外見は重要ですか？	シチュエーション: 独立して、家庭を作る際、家は賃 貸住宅ではなく 出来る限りマイホームを買うべき ですか？	シチュエーション: 家族に対する直接お名前を呼んだ らだめですか？



FICECで行われたもう一つの「ふじみ野市誕生10周年記念事業」が10月4日（日）に開催された「Let's enjoy☆大人のトーク」です。参加者の出身国は中国、フィリピン、台湾、ベトナム、インドネシア、コロンビア、そして日本。全部で33名もの人たちが、「家庭で子育てや家事等、男性は分担すべきですか？」「出来る限りマイホームを買うべきですか？」「友だちと待ち合わせて15分待ったらイライラしますか？」等と六つのシチュエーションをもとに、お国柄も交えてそれぞれの意見を発表しあい、笑いあり、議論ありのひとときを過ごしました。

第二回目もぜひ開催してほしいという声が沢山聞かれましたので、また機会を設けて実施できたらと思っています。

## ありがとうございます。今年も「善意の箱」をいただきました。

ふじみの国際交流センターを支えてくださっている埼玉県東入間地区遊技業防犯協力会を紹介します。

5月29日、東入間地区遊技業防犯協力会総会会場において、「善意の箱」基金から活動資金10万円を寄贈していただきました。元富士見市立水谷公民館長の東海林さんのご紹介で寄付をいただくようになって10年になります。

東入間地区遊技業防犯協力会は2市1町内で営業しているパチンコ・パチスロホール20店が加盟している組合で、営業の健全な発展、経済的地位の向上、暴力団の排除活動等を目的に活動しています。

また社会貢献への取り組みとして2市1町の社会福祉協議会、東入間学童野球連盟に加えて、ふじみの国際交流センター等の福祉関係団体へ支援活動として、不況の時代にあっても毎年欠かさず助成金を寄贈してください。

総会の席で毎年お約束していることす

が、組合員の皆様のご厚意を大切に、多言語での情報紙の発行をこれからも続けていきたいと思っています。いつもありがとうございます。



5月に寄贈式が行われました。

## FICECってどんな団体!? ～SWOT分析から見えてきた私たち

FICECでは、もっと多くの人にFICECの活動をPRしたいとの思いから、今年2月に広報部を立ち上げ、PR方法と寄附集めについて話し合ってきました。ところが、なかなか具体的な方向が絞りにくいので、これはなんとかしなければということで、広報部のメンバー数名で、ジャパングビングが主催するファンドレイジング(活動のための資金集め)講座に参加してきました。そこで、組織を知る第一ステップとして“SWOT(スウォット)分析”について教えてもらいました。

SWOT(スウォット)とは、Strength(強み)、Weakness(弱み)、Opportunity(機会)、Threat(脅威)という四つの英単語の頭文字から取った名

前です。前者二つはFICECがもつ強みと弱み、後者二つは社会における機会(FICECに追い風となる社会の現象)と脅威(FICECにとって向かい風となる社会の現象)のことです。このそれぞれについて、よくグループワークなどで使うKJ法(付箋に思いついたままテーマに沿ったキーワードを書き、ペタペタ模造紙に貼っていく方法)で書き出します。これをするのは、普段漠然と感じているFICECの良さや強さ、弱みを意識的に知り、具体的なPR活動につなげるための第一歩となります。現在スタッフ会議の時間に、スタッフ全員でSWOT分析に取り組んでいます。その一部を少しご紹介します。

### 【強み】

- ・ 外国ルーツの子ども達への日本語教室
- ・ 多国籍のスタッフ
- ・ 熱い思いを持ったボランティア
- ・ 近隣の行政との協力関係

### 【弱み】

- ・ 拠点確保のための財政的負担の高い割合
- ・ 活動するための収入、資金の不足
- ・ スペシャリストの不足
- ・ 外国人に関する問題意識の周知不足

### 【機会】

- ・ スキルの高い外国人労働者の増加
- ・ 企業による社会貢献の広がり
- ・ 行政との協働機会の増加
- ・ 2020年オリンピックの開催

### 【脅威】

- ・ ヘイトスピーチ
- ・ 行政の財政の赤字化
- ・ 在住外国人支援に対する社会の理解不足
- ・ 外国籍の子どもの受け入れ体制の未整備

この他にも、書ききれないほどたくさんの意見が出ました。普段じっくりFICECについて話し合う機会がなかったので、スタッフ全員でFICECに対する思いを共有できる貴重な機会となりました。今後は、【強み×機会】のように各ブロックの項目を一つ

ずつ掛け合わせて、この中からどんな広報活動につながられるか、あるいはどんな新しい取り組みが始められるかもスタッフ全員で考えていく予定です。その様子については、また次号で紹介いたします。(広報部担当 加藤)

## クイズ・日本語能力試験N1に挑戦!

日本語能力試験は、日本語を母語としない人を対象にしている検定試験で、N5からN1まで5段階あり、N1が一番難易度が高く、新聞の論説の読解が可能なレベルと言われています。皆さんも挑戦してみませんか。(※クイズは問題集を参考に独自に制作したものです)

Q1. 2020年に東京でオリンピックが\_\_\_\_\_される。  
1. 開幕 2. 開催 3. 閉幕 4. 開会

Q2. 素晴らしい演技に拍手を\_\_\_\_\_。

1. あげた 2. 送った 3. 叩いた 4. 鳴り止まなかった

ハガキまたはメールで①答え②住所③氏名④年齢⑤今回の記事で良かったもの⑥ハローフレンズで読みたい記事、を書いて「日本語N1クイズ係」と明記してお送りください。正解者の中から抽選でお二人に台湾のお土産を差し上げます。

## センターの活動をご支援ください 会員・賛助会員・寄付のご案内

### ●活動を担う会員……正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

### ●センターを財政的に支える会員……賛助会員

賛助会員は、センターを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、センターのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

郵便振替口座：00110-0-369511  
口座名：ふじみの国際交流センター

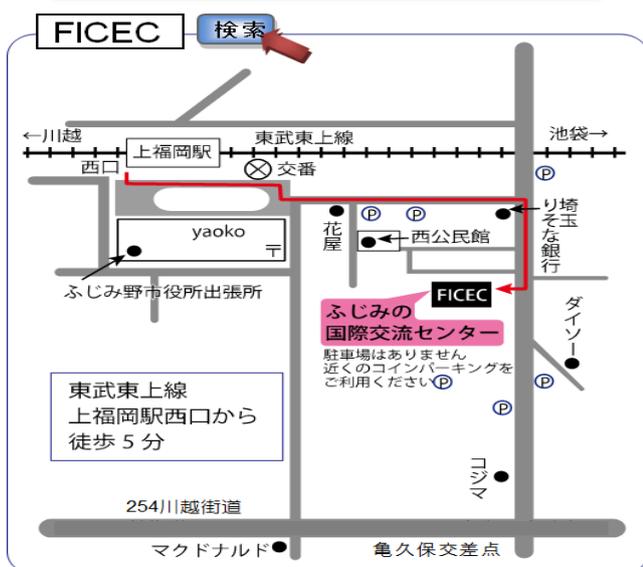
## 外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00

電話：049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら  
センターをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定  
特定非営利活動法人 **ふじみの国際交流センター**

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25  
TEL:049-256-4290 FAX:049-256-4291  
生活相談専用電話 049-269-6450

## ご寄付をいただいた方々 ご支援ありがとうございます

### ●2015年1月～(50音順・敬称略)

朝倉房枝、阿澄康子、穴沢エミリン、新井順子、新井洋子、荒田光男、イオン(株)大井店、石井ナナエ、石塚雄康、イスマイロワ・マストラホン、板倉浩子、伊藤真弓、岩田仁、インデイ、尾浦与子、上原美樹、大澤エミリー、太田原裕、小熊千寿子、小原知子、加藤久美子、加藤惣一郎、加藤由里子、葛西敦子、金沢国勝、神田順子、木村澄恵、木村梨絵、丘亜蘭、邱皇親、樟山直美、熊谷洋興、栗島三千代、国際ソロプチミスト埼玉、木場ひろみ、小林暁美、駒形一夫、酒井有香、サタール・イクラ、佐竹裕子、佐藤弘康、佐藤義治、島田道子、下元アナリザシモモト、鈴木プレシーラ、高橋博、竹内直江、武田和子、田中つや子、坪田幹男、チャミンダ、チャミンラ、チョン、出口優子、寺村璧如、戸塚成子、内藤忍、中村禎作、沼田伊久俊、野沢弘子、長谷川正江、早瀬佐恵子、東入間地区遊技業防犯協力会、彦由章、彦由真希、松本ノエミ、向吉孝子、矢澤美紀、柳下昌英、山内典子、山崎友理、山畑博子、吉井ジュリエッタ、リバテイ、劉圭霖、日下エレナ英語教室、山崎友理中国語教室、FICECパソコン教室受講者一同

埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は税金の優遇を受けることができます。

## ボランティア活動に、ご参加ください

ふじみの国際交流センターでは、日本語指導をはじめ、外国籍市民との交流・手助けをするボランティアを募っています。ぜひ、電話またはホームページから、お気軽にご連絡ください。